

お買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
この説明書は、必ず保管してください。

安全上のご注意

安全にお使いいただくための注意事項を説明しています。必ずお守りください。
なお、有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。

	危険	死亡または重傷を招く差し迫った危険な状況を示します。
	注意	軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況 および物的損害の発生するおそれがある場合を示します。

お守りいただく内容を次の図記号で
区分しています。

してはいけない

必ず守る

■保管上のご注意

注意	
	高温、多湿、塵埃、直射日光、腐食性ガスなどの雰囲気 で長時間保管しないでください。 筐体が劣化し破損するおそれがあります。
	梱包状態で保管してください。 故障のおそれがあります。

■施工上のご注意

危険	
	設置および配線は活線状態で行わないでください。 感電のおそれがあります。
	配線作業は上位ブレーカなどを「OFF」にし、電気がきてい ないことを確認して行ってください。 感電のおそれがあります。

注意					
	修理、分解および改造は行わないでください。 火災、感電および故障のおそれがあります。				
	接地以外の目的では使用しないでください。 火災、感電および故障のおそれがあります。				
	高温、多湿、じんあい、腐食性ガス、振動、衝撃などの異常 環境に設置しないでください。 故障や接地不良のおそれがあります。				
	速結端子ユニットの1つの電線挿入口に2本以上の電線を 差し込まないでください。 故障や接地不良のおそれがあります。				
	ユニット同士を連結させる際、回路増設端子(ブレード)を 回路増設端子(クリップ)に確実に差し込んでください。 差し込みが不十分な場合、接地不良のおそれがあります。				
	ユニット同士を取り外す際、徐々に力を加えながら引き抜い てください。引き抜いたときの反動により回路増設端子(ブ レード)などでケガをするおそれがあります。				
	製品取り付けの際、取付ねじを適正締付トルクで締め付け てください。製品が破損するおそれがあります。				
	電気工事は、有資格者(電気工事士)が行ってください。				
	ごみ、コンクリート粉、鉄粉、虫などの異物および雨水など が製品内部に入らないように施工してください。 接地不良のおそれがあります。				
	本体の仕様の範囲内でブレーカの定格電流に適合した電 線を接続してください。 地絡事故時に故障や接地不良のおそれがあります。				
	電線接続の際、端子ねじを適正締付トルクで締め付けてくだ さい。故障や接地不良のおそれがあります。				
	<table border="1"> <tr> <th>ねじの呼び</th><th>締付トルク N・m</th></tr> <tr> <td>M6</td><td>4.0~5.0</td></tr> </table>	ねじの呼び	締付トルク N・m	M6	4.0~5.0
ねじの呼び	締付トルク N・m				
M6	4.0~5.0				
	電線の接続は、各極の端子に電線が平行に接続されるよう に、事前に電線を成形した上で行ってください。 また、本体の端子に電線の重量が過度に加わらないように、 電線を固定してください。 故障や接地不良のおそれがあります。				
	電線が変形・腐食している場合は、電線をむき直してから接 続してください。接地不良のおそれがあります。				
	電線を本体の速結端子に接続する際、電線を奥まで差し込 み黄色の接続完了表示が出ていることを確認してください。 差し込みが不十分な場合、接地不良のおそれがあります。				
	<table border="1"> <tr> <th>ねじの呼び</th><th>締付トルク N・m</th></tr> <tr> <td>M5</td><td>2.0~2.5</td></tr> </table>	ねじの呼び	締付トルク N・m	M5	2.0~2.5
ねじの呼び	締付トルク N・m				
M5	2.0~2.5				

■使用上のご注意

注意	
	保守・点検は、専門知識を有する人が上位ブレーカなどを「OFF」にし、電気がきていないことを確認して行ってください。 感電のおそれがあります。
	端子ねじは、定期的に有資格者が適正締付トルクで締め付けを行ってください。接地不良のおそれがあります。

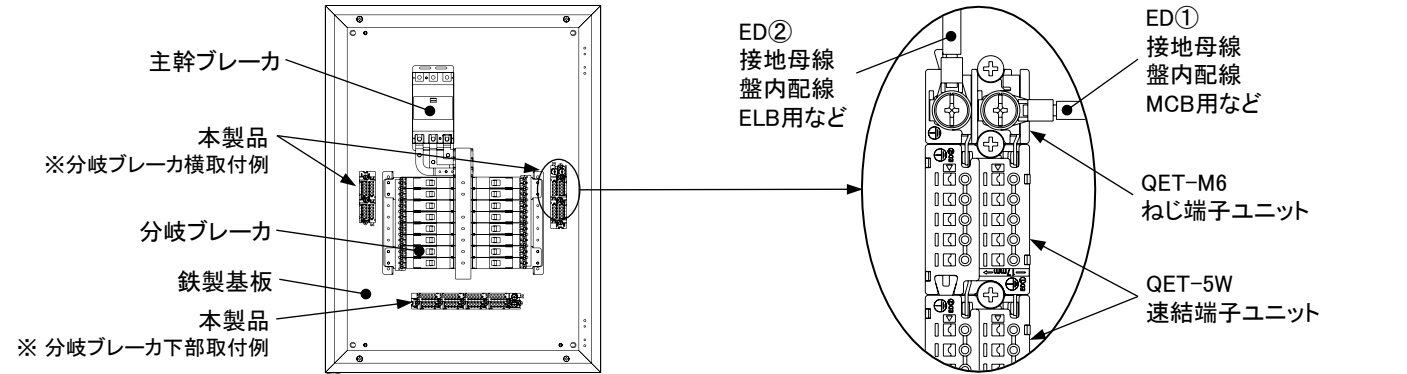
■製品概要

本製品は、低圧分電盤の分岐回路における接地線の結線に使用できる接地端子台です。以下の特長があります。

- ・アース用銅バーの代替として使用可能な2つのユニット
分岐回路の接地線を接続するQET-5W(速結端子ユニット)と、
接地母線や盤内配線などの電線を接続するQET-M6(ねじ端子ユニット)で構成され、それらを組み合わせることができます。
分岐回路における接地線の結線に用いるアース用銅バーの代替として使用することができます。
- ・2系統のアース(主にMCB用とELB用)を内蔵
電気的に絶縁された2系統のアース用導電部(ED①、ED②)を備え、
主にMCB用とELB用アースとして使用でき、それらの接地線を本製品に集約することができます。
- ・簡単に端子数の変更が可能
ユニット同士を連結することにより、ブレーカの分岐回路数や長さに応じて自在に端子数を変更できます。

● 使用例

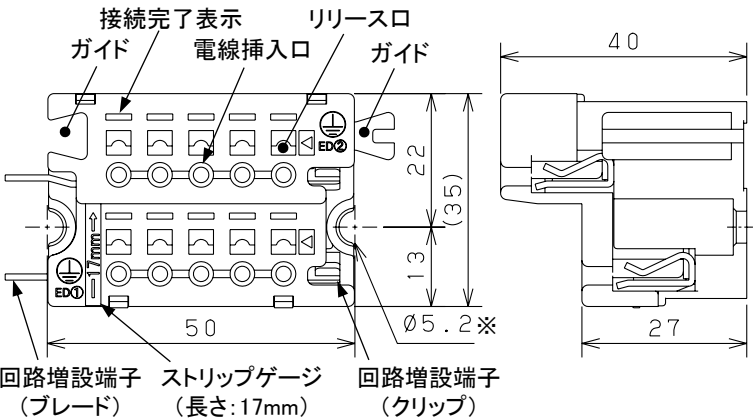
分電盤の分岐ブレーカ横や下部などに取り付けてご使用いただけます。



■各部の名称

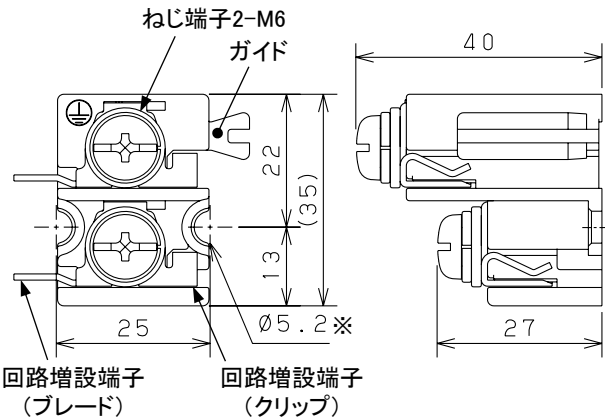
● QET-5W(速結端子ユニット)

(単位:mm)



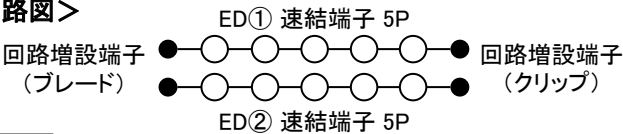
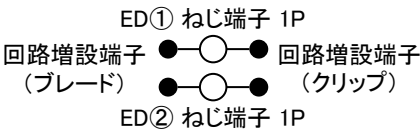
● QET-M6(ねじ端子ユニット)

(単位:mm)



※ 取付穴はユニット同士を連結することでφ5.2となります。

＜回路図＞



ご注意 ED①とED②は異なる系統の接地を示し、電気的に絶縁されています。

■仕様

品名記号	端子数	定格絶縁電圧	定格適合電線	接続可能電線	接続可能圧着端子(Max)	端子ねじ径	内線規程分岐ブレーカ定格電流	備考
QET-5W	5P / 5P	250V ※1	φ2	φ1.6、φ2 φ2.6 ※2 3.5mm ² 、5.5mm ² ※2	-	-	100A以下 ※3	速結端子ユニット
QET-M6	1P / 1P		8mm ²	最大22mm ² ※4	22-S6(JST) ※5 R22-6S(NTM) ※5	M6(なべ小)	150A以下 ※3	ねじ端子ユニット

※1 異なる系統間および対地間の絶縁性能を示します。
※2 棒端子部の先端径がφ1.9～φ2、長さが17mm以上の棒圧着端子(TC5.5-21-ST(NTM)※5など)を使用することで接続が可能です。
※3 分岐回路の接地線の太さは分岐ブレーカの定格電流に合わせて選定してください。(内線規程)
なお、主幹ブレーカの定格電流が150Aを超える場合、本製品を接地母線としては使用できません。
別途キャビネット接地端子などの接地母線を設けてください。
※4 最大22mm²まで接続が可能です。が、定格電流150Aを超える分岐回路の接地端子台としては使用できません。
※5 JST: 日本圧着端子製造(株)製品、NTM: (株)ニチフ端子工業製品を示します。

■ユニットの連結方法

本製品はユニット同士を連結させることにより、ブレーカの分岐回路数や長さに応じて自在に端子数を変更できます。
QET-M6(ねじ端子ユニット)に付属のエンドカバーはユニット末端部の回路増設端子(ブレード)のカバーとしてご使用ください。

ご注意

- 回路増設端子の挿抜可能回数は5回です。挿抜は必要最低限にてご使用ください。
- QET-5W(速結端子ユニット)同士の最大連結数は25ユニットです。
- QET-M6(ねじ端子ユニット)同士の連結はできません。
- QET-M6(ねじ端子ユニット)にエンドカバーを取り付ける場合は、
連結を行う前にエンドカバーを取り付けてからQET-5W(速結端子ユニット)へ連結を行ってください。

＜グリスについて＞

回路増設端子(クリップ)にはグリスが塗布されています。グリスはじんあい、腐食性ガスなどの異常環境で蒸発・変質することがあります。グリスが連結の前に蒸発・変質した場合は、次のグリスを適量塗布してください。メーカー：(株)テトラ 品番：A-9300、C-9300
なお、塗布を行う際は製品筐体にグリスが多量に付着しないようにしてください。

1. QET-5W(速結端子ユニット)同士の連結(図1)

連結する側のガイドを連結される側のガイドに沿わせながら、
回路増設端子(ブレード)を回路増設端子(クリップ)に上方から垂直に差し込みを行ってください。

2. QET-5W(速結端子ユニット)とQET-M6(ねじ端子ユニット)の連結(図2)

ねじ端子ユニットは速結端子ユニットの片側もしくは両側に取り付けることができます。
ねじ端子ユニットのガイドを速結端子ユニットのガイドに沿わせながら、
回路増設端子(クリップ)を回路増設端子(ブレード)に上方から垂直に差し込みを行ってください。

3. エンドカバーの取り付け(図3)

- QET-5W(速結端子ユニット)
エンドカバーを速結端子ユニットの上方からガイドに沿って取り付けてください。
- QET-M6(ねじ端子ユニット)
エンドカバーをねじ端子ユニットの下方からガイドに沿って取り付けてください。

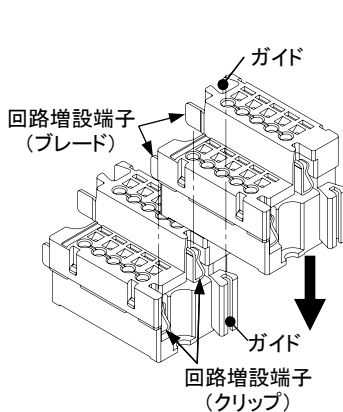


図1 速結端子ユニット同士の連結

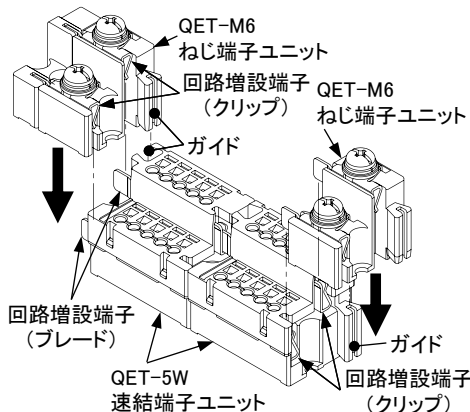


図2 速結／ねじ端子ユニットの連結

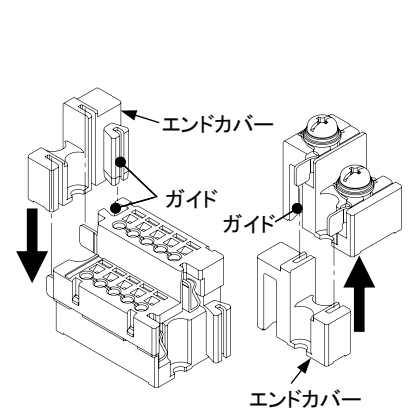


図3 エンドカバーの取り付け

■ユニットの取外方法

連結された本製品を手で持ち上げ、取り外す側に徐々に力を加えるなどして連結時とは逆方向に引き抜いてください。

ご注意

取り外し後は回路増設端子(ブレード)にグリスが付着します。異物が付着する可能性がありますので、ご注意ください。

■取付方法

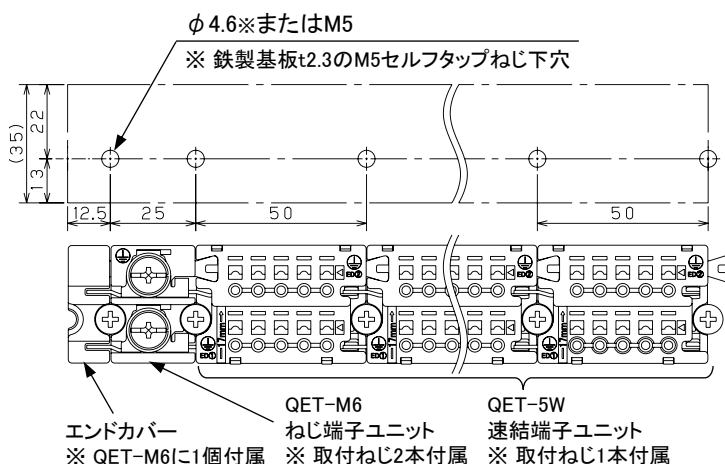
本製品をキャビネットの鉄製基板などに取り付けてご使用ください。

鉄製基板に取り付ける場合、下図の取付穴寸法を参考に穴加工を行い、付属の取付ねじなどで固定してください。

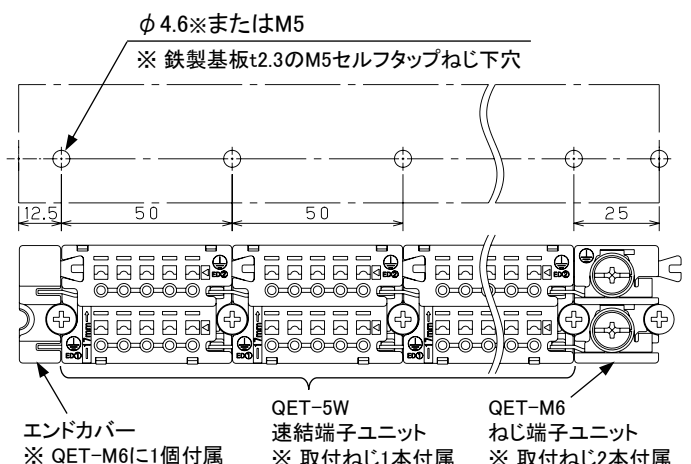
※ IECレールへの取り付けには対応していません。

● ユニット構成例と取付穴寸法

＜エンドカバー＋ねじ端子＋速結端子…の構成＞ (単位:mm)



＜エンドカバー＋速結端子…＋ねじ端子の構成＞ (単位:mm)

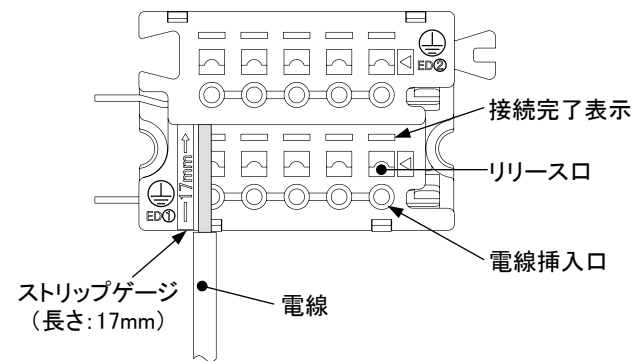
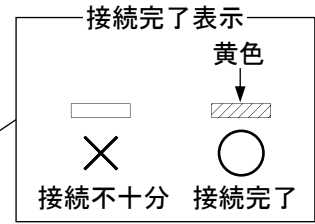


■端子への電線接続

● QET-5W(速結端子ユニット)

＜電線を接続する場合＞

- 1. 電線の被覆を本体のストリップゲージに合わせて17mmむいてください。
- 2. 電線を電線挿入口に入れ、奥まで差し込んでください。
- 3. 黄色の接続完了表示が出ていることを確認してください。



＜電線を抜く場合＞

リリース口に取り外し工具※やφ1.6～φ2の丸棒を差し込みながら、電線を引き抜いてください。(図4、5)

ご注意

電線の挿抜可能回数は5回です。挿抜は必要最低限にてご使用ください。

※ 取り外し工具は下記寸法を目安に選定してください。

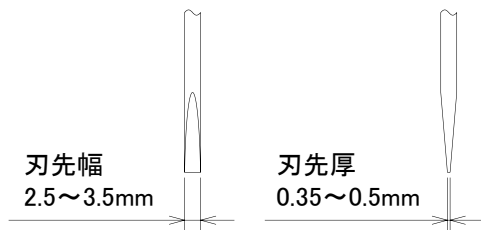
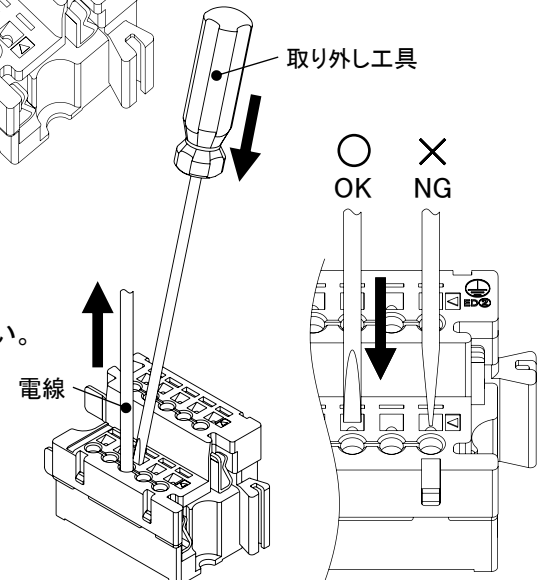


図4 電線の引き抜き方法 図5 取り外し工具挿入方向

● QET-M6(ねじ端子ユニット)

電線接続の際は、適正締付トルク(M6: 4.0～5.0N・m)で締め付けてください。

ご注意

1つの端子に圧着端子を2個接続する場合、片方の電線太さは8mm²以下となるようにしてください。

(組合わせ例 <OK> 22mm²と8mm² <NG> 22mm²と22mm²、22mm²と14mm²など)

■付属品

品名記号	付属品			
QET-5W (速結端子ユニット)	取付ねじ(+Sタイトなべ小ねじ M5×12)	1コ	取扱説明書(本紙)	1部
QET-5W-P (速結端子ユニット 省梱包仕様 20個入)	取付ねじ(+Sタイトなべ小ねじ M5×12)	20コ	取扱説明書(本紙)	1部
QET-M6 (ねじ端子ユニット)	エンドカバー 取付ねじ(+Sタイトなべ小ねじ M5×12)	1コ 2コ	取扱説明書(本紙)	1部

施工業者名	
TEL	
施工年月日	年 月 日

お問い合わせ先

ご不明な点がございましたら弊社お客様相談センターにお問い合わせください。

TEL (0561) 64-0152

〈受付時間〉9：00～12：00、13：00～17：00（土・日・祝日は休み）

- ・お客様からご提供いただいた個人情報は、商品の修理やご相談への対応、および情報の提供に利用いたします。
- ・利用目的の範囲内で、グループ各社と共同で利用させていただく場合があります。
- ・個人情報はあらかじめ本人の同意を得ないで、第三者に提供することはいたしません。

本製品の故障や瑕疵により、当社の予見の有無を問わず生じた二次損害について、当社は一切の責任を負いかねます。
仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。

2026年1月
B499022920

NITTO KOGYO

©NITTO KOGYO CORPORATION